

Lasius emarginatus

(Olivier, 1792)

胸部が赤みがかった小型で成長の速いLasiusで、トンネル掘りが大好きです。



ひと目でわかる情報



巣の温度

21–27 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

巣の中



休眠

5–8 °C

10月–3月



結婚飛行

6月–8月

働きアリ

3–5 mm

どれも同じ大きさ



女王

7–9 mm

女王は1匹



コロニーの規模

まだデータがありません

成長速度：速い

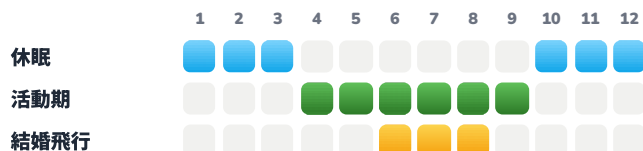


脱走リスク

中程度

アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ

働きアリ

3–5 mm

女王

7–9 mm

0

5

10

飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. Ytongの巣
2. サンドイッチ型の巣
3. アクリル製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

私のコロニーから

ヒント

コロニーの成長が速くブルードがたくさんタンパク質を必要とするので、砂糖水に加えて、コオロギ、ミミズ、ショウジョウバエなどの昆虫を切らず与えましょう。

注意

働きアリの数がある程度を超えると成長が爆発的に加速します。手狭になる前に、もっと大きな巣とアウトワールドを用意しておきましょう。